

善竹大二郎の狂言会
第五回特別公演

寿来爺

SUKURU-JI

音楽狂言

狂言

善竹 十郎

善竹大二郎

演奏

河村 典子(ヴァイオリン)

大田 智美(アコーディオン)

白土 文雄(コントラバス)

作曲

ワルター・ギーガー

脚本

長屋 晃一

日時

令和二年十二月二十五日(金)

昼公演

開演・十四時(開場十三時三十分)

夜公演

開演・十八時三十分(開場十八時)

会場

観世能楽堂

GINZA SIX 地下三階

協力

オフィスN

梅若インターナショナル

御挨拶

Greeting

年の瀬も迫った聖夜、第五回の節目となる自主公演、善之会を催す事となりました。コロナ禍という事で、公演をすべきか考えましたが、このような時だからこそ、生きている喜びをテーマにした新作の『寿来爺(スクルージ)』を選曲し、皆様楽しんで頂きたいです。昨年、オーストリア、スイス、イギリスにて、6公演のツアーで好評を得た自信作です。御友人をお誘い合わせの上、是非足をお運び下さいませ、何卒宜しくお願い申し上げます。

善竹 大二郎

あらすじ

Summary

クリスマスの前夜、どケチな守銭奴・寿来爺(スクルージ)のもとに、かつての仕事仲間の亡霊が現れます。彼の改心を促すために、過去・現在・未来のクリスマスの精霊三人がやってくるという。

果たして彼は心を入れ替えるのか!?、彼に明るい未来は訪れるのでしょうか?

みどころ

Highlight

ディケンズの名作『クリスマス・キャロル』を狂言に、しかもヨーロッパ現代音楽とのコラボレーションで。「音楽狂言」と銘打った舞台は、狂言が持つ磨き抜かれた「型」の魅力を伝えます。狂言のそぎ落とされた所作と言葉は目には見えない映像となります。音楽狂言《寿来爺》は、異なる背景を持つ芸術が一つの舞台で繰り広げる対話なのです。

チケット

Ticket

- A席・6,000円(正面指定席)
- B席・5,000円(脇正面指定席)
- C席・4,000円(中正面指定席)
- 学割(U22)・3,000円(中正面指定席)

◎チケット申込み

一般社団法人 善竹狂言事務所
Tel/Fax 03-3467-2626
<https://www.kyogen.tokyo/>

◎振込先

三井住友銀行
渋谷駅前支店
普通預金 5055016



案内図

Access

観世能楽堂
東京都中央区銀座
6丁目10-1
GINZA SIX 地下3階



お問合せ

Information

梅若インターナショナル

Tel:03-3363-7718(12:00~17:00)

info@umewakainternational.com

プロフィール

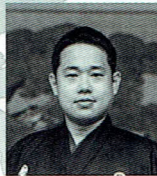
Profile

●善竹十郎



1944年生まれ。故善竹圭五郎の長男。父及び祖父故善竹彌五郎(人間国宝)、大蔵流二十四世宗家・故大蔵彌右衛門(伯父)に師事。芸術選奨文部大臣新人賞受賞、大阪文化祭受賞。早稲田大学エステンションセンター講師。東京医療大学客員教授。重要無形文化財総合指定保持者総合認定。(公社)能楽協会、(社)日本能楽会会員。

●善竹大二郎



1981年生まれ。善竹十郎の次男。父及び祖父故善竹圭五郎に師事。3歳から稽古を始め、5歳の時『鞍猿』の小猿役で初舞台。後に「末広がり」「千歳」「那須」「三番三」「釣狐」を抜く。東京を中心に活動し、全国幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学にて、狂言の普及に尽力する。海外公演も多数参加。駒澤大学文学部国文学科卒。駒澤大学外部講師。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。昭和音楽大学ミュージカル科非常勤講師。善之会主宰。(一社)善竹狂言事務所代表理事。(公社)能楽協会東京支部会員。

●河村典子(ヴァイオリン)



スイスと日本を拠点に演奏・指導及び数々のプロデュース活動。NHK・FM「ベストオブクラシック」、「名曲リサイタル」、NHK-BS「クラシック倶楽部」、愛・地球博スイス館コンサート、谷川俊太郎氏とのスロベニアツアー、メコン・日本交流年のベトナムツアー等。2019年11月、音楽狂言《寿来爺》のオーストリア(日唄150周年)・スイス・イギリス6公演のツアーを実現。

●大田智美(アコーディオン)



アコーディオンを10歳から江森登に師事。国立音楽大学附属音楽高等学校ピアノ科卒業後、渡独。2009年 Folk-Vanck 音楽大学ソリストコースを首席で卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。御喜美江に師事。またウィーン私立音楽大学でも研鑽を積む。帰国後は、ソロや室内楽、オーケストラとの共演等クラシックや現代音楽を中心としながらもジャンルを超えた演奏活動を行い、アコーディオンの魅力と可能性を発信している。

●白土文雄(コントラバス)



ミュンヘン音楽大学を卒業。1978年よりチューリッヒ・トーンハレオーケストラ首席、1990年同オーケストラを退団以降、貴重な独奏、室内楽奏者として幅広く活躍する。2009年9月、国際交流基金の助成を受け、外務省メコン・日本交流年事業として、「アンサンブル・レソナンツ」ベトナムツアーを監修。ジュネーブ国際音楽コンクールコントラバス部門審査員。

●長屋晃一



國學院大学文学部卒業後、慶應義塾大学にて音楽学を学ぶ。19世紀のイタリア・オペラにおける作劇法を研究するかたわら、台本作家としても活動。現在、立教大学、慶應義塾大学、桜美林大学で教鞭をとる。